

白山ふるさと文学賞

第四回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【暁烏敏部門】〈作文「母へのおもい」〉

小学生高学年の部 優秀賞

# まほう使いのお母さん

広陽小学校六年

宮川 みやかわ

優花 ゆうか

私のお母さんは、いつも何があってもそばにいてくれます。学校でいやなことがあったとき、友達とけんかしたとき、失敗したときどんなときもなぐさめてくれます。学校から家に帰ると「おかえりー♡」とむかえてくれます。ごはんの時、宿題の時、いつも近くにいます。

ご飯も上手でおいしいです。私が考えたお料理をうまく味つけて、お母さんのご飯を食べるとみんな笑顔になります。私の大好きな食べ物は「サケのグラタン」です。このお料理は、私のお母さんが考えたレシピです。私はお母さんのご飯を食べると、心が「ホット」します。ご飯を食べると何かやる気ができます。そして、勉強もお母さんのおかげでがんばれます。「どうしてお母さんのお料理はおいしいの？」と聞くと、「てきとうだよ」とかえってきます。なのでお母さんのヒミツが知りたいです。

お母さんのお仕事は、力もちじゃないとできないお仕事です。たくさん箱、カゴを運びます。運転がうまくないとできません。走れないとできません。暗記力がないとできません。雨、風、雪、くもり、どんな時も、お母さんはお仕事に行きます。そして、雨や雪の日は、ビショビショで帰ってきます。そうすると私がタオルを出してあげます。お母さんは、お仕事の人はたよりにされていると思います。そして、お母さんはほとんど土曜日もお仕事です。お母さんは、お仕事が忙しいのに、家では休まずに家事をしています。夜、ねるのはおそいし起きるのは早いし家でも仕事の続きをしているのでお母さんはきちんとしていてるのかな？と思います。もしねていたとしても、少ししかねていないと思うのでどうして朝から夜までもつのかが不思議です。お母さんは、みんな知らないうちに何かしていると私は思います。

お母さんは、かぜをひきません。私がインフルエンザのときも、家族がかぜをひいていても、私のお母さんはうつりません。なのでお母さんは、強いと思います。お母さんは、体をきたえていないのでどうしてかぜをあんまりひかないのかな？と思います。お母さんは、私と同じ生活

をしているのにすごいと思いました。

お母さんは、こまかい事が上手です。パズルやランプ、プラモデルなど私が苦手なことが得意です。他には、私のお母さんは強いです。なぜかと言うと、けがをしても、いたいなどは言わないし、本当に強いと思います。

やさしいし、お母さんは私達の反応で私が「今何を思っていたか」とか、「イイことあったでしょ」とか「なんかいやなことでもあったん」とか「だいじょうぶ？」とかを聞いてくれるので私はとてもうれしいです。聞いてくれると相談ができるので本当にうれいす。

私のお母さんは、そばにいてくれて、ご飯がおいしくて、特別なことができて、かぜをあんまりひかなくて、こまかいことが得意で、やさしいです。お母さんは私達にとって不思議なことがいっぱいあります。私には、お母さんは、不思議な力を持つまほう使いみたいに思えてきました。本当にお母さんは、お家のことをたくさんして、お仕事もしているので、本当にまほう使いだったら私の夢もかなえてくれるとうれいす。でも、その夢はまたお母さんに見守ってもらいながらかなえていきたいと思えます。

私はずっとお母さんに言いたいことがあって、「どうしてお母さんは不思議な力を持つているの？」です。私は本当にまほうかな？と思っています。

私も大人になったら、お母さんみたいな不思議な力を持って人を助けられたらいいと思います。私にとってお母さんは、大好きな大好きなだれよりも負けないくらいお母さんが大好きです。私の宝は家族だけけど、いつもお世話になっているお母さんが一番です。0才〜今までずっとめれるのはぜったいに無理なのでお母さんとは、はなれたくありません。私にはお母さんが必要です。もしいかなかったら私は何もできないと思えます。